



学校法人 松樹学園

信州リハビリテーション専門学校

信リハ通信

第22号 2024年1月発行



第13回 檜翔祭



11月4日(土)第13回檜翔祭(ひしょうさい)が「Re:～はじめまして檜翔祭～青春をとりもどせ」をテーマに、桧川公民館贅川分館の文化祭と合同で開催しました。4年ぶりの開催で、当日は健康チェック、リハビリ体験など学生達の学びや成果を発表すると共に、地域の皆様と良い交流の場となりました。模擬店では、焼きそば・唐揚げ・ポテトの他、恒例の豚汁無料提供も行いました。準備は大変でしたが、各々が自分の役割に責任を持ち行動し、仲間と協力し合う大切さを学ぶことができました。



澄み渡る秋晴れの日に、第13回檜翔祭が開催されました。コロナ禍で3年間開催できず、学生も全学年どのような事を行っていたか知らない状況でした。しかし、先生や地域の方々のご協力もあり大変盛大に行うことができました。後夜祭では、ダンスや早食いなどを企画し会場には学生の笑顔と歓声が響き学年の垣根を越えて一つになった文化祭でした。多数のお力添えがあり、無事に終えることができました。ありがとうございました。

よねくぼ みつき
学生会長：2年 米久保 光希



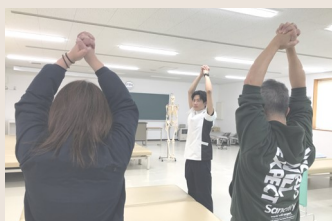
ステージイベント



アリーナでは、ステージ発表が繰り広げられました。「フララ」様の優雅なハワイアンダンス、「Heart Beat」様と「ダンシングスター」様の元気あふれるキッズダンス、「ポテサラ」様のノリノリズンパダンスで盛り上がりました。最後は、本校1年生全員のキレッキレダンスで会場内は大きな歓声に包まれました。

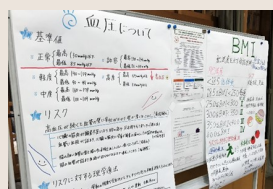
リハビリ体験

経験者不在の中、「肩こり体操」、「腰痛体操」、「下肢のストレッチ」の企画を暗中模索しながら準備し、当日は資料を増刷するほどの方が訪れましたが、2年生を中心に適切に対応していました。檜翔祭は学外の方と交流できる数少ない機会ですが、来訪者を笑顔で接遇し、丁寧に説明していました。



健康チェック

今回の健康チェックではBMIを一つの目玉としました。BMIは体重を身長²で割るものです。例えば身長170cm、体重80kgの方は、 $80 \div (1.7)^2 = 27.68$ と計算できます。日本肥満学会の基準によると、BMIが22になるときの体重を標準体重としていますので、太りすぎということになります。皆様も(体重)÷(身長m)²を試してみたいはいかがでしょうか。その他、血圧測定なども行いました。





玄蕃まつり



玄蕃まつり大賞 受賞！✧



7月29日(土)塩尻の玄蕃まつりに姉妹校の信州介護福祉専門学校と合同参加し、総勢150名越えの「松樹学園連」として塩尻の街を踊り歩きました。両校の学生代表が中心となり、松樹学園オリジナルの掛け声や振り付けを考案し、練習を重ねてまいりました。当日はなんと『玄蕃まつり大賞』を受賞！学園全体、元気いっぱい地域を盛り上げることができ、コロナ禍以降、久しぶりに地域の活気を笑顔で感じることができました！



障がい者スポーツ

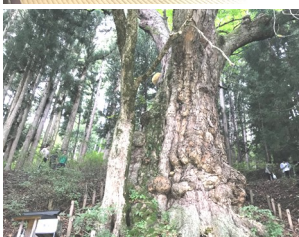
1年生の授業でパラスポーツ協会の講師の方をお招きし、パラスポーツについて講義を行って頂きました。スポーツ経験のある学生が多く、真剣に講師の先生の話聞いていました。講義後は、実際の競技用車いすを使い、車いすバスケットボール、ボッチャを体験しました。今後、地域のパラスポーツ活動にも参加したいという声も聞かれ、大変盛り上がりしました！



ボランティア活動

～清掃活動をしながら贅川の良い所を探そう！～

1年生のボランティア論の授業では、様々な種類のボランティアについて学習してきました。夏期休暇中には学生が各自で考えたボランティアを実践しました。9月には授業のまとめとして地域で行えるボランティアを企画し「観音寺の清掃」と「贅川マップの作成とゴミ拾い」を行いました。地域の文化や人との交流を通して、達成感を得られたと話す学生もとても多かったです。この経験を今後色々な場面で活かしていって貰いたいと思います。

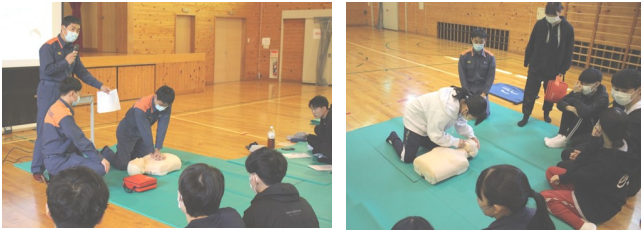


9月20日にボランティア論の授業で、二つのグループに分かれて「贅川のゴミ拾い」と「観音寺の清掃」を行いました。観音寺の清掃では綺麗に清掃することができました。贅川のゴミ拾いでは、ゴミを拾うとともに贅川地区の観光マップ作りも行いました。普段は行くことのない場所を実際に歩くことで贅川の魅力に気づくことができました。贅川の町並みや文化財を綺麗にすることでいつも利用させていただいている贅川地区に少しでも貢献でき良かったです。

かまだ はるか
1年：鎌田 悠

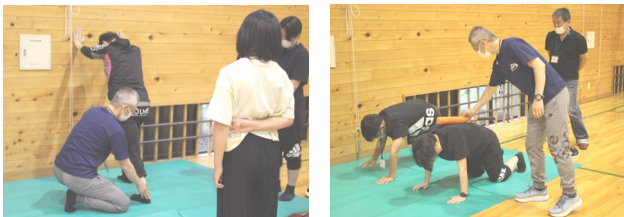
普通救命講習

木曽消防署北分署員の皆様をお招きし、まずは応急手当についてDVDを見ながら重要性などについて講義をしていただきました。その後、心肺蘇生法、人工呼吸、AEDの使用などの実技を行いました。全体を通し皆真剣に取り組んでおり、AEDでは触れること自体が初めての人もいたため、とても貴重な時間となりました。



いろいろなお仕事体験会

毎年、中信地区の各専門学校では、小中学生を対象とした「いろいろなお仕事体験会」を企画し、本校でも8月8日に小学生2名、中学生1名の方の参加があり、開催いたしました。今回の内容は「ケガを予防してスポーツを楽しもう!」という事で、正しい体の使い方や、ケガをしない走り方の実践など、参加者も楽しみながら理学療法に触れることができました。



卒業生からのメッセージ



一之瀬脳神経外科病院勤務
6期生 荻野 洵太 先生

私は、急性期と回復期病棟での勤務を経て、現在は訪問リハビリ部門で働いています。利用者様の自宅を訪問し困っていることや出来るようになりたいことを伺い、その目標が達成できることで、その人らしい生活を送れるよう日々、利用者様と向き合っています。私が信リハで学んだことで今も大切だと思っていることは接遇です。専門的な知識や技術は必要ですが、一方で患者様からの信頼がなければ十分な治療効果は得られません。また、他職種との連携も大切な仕事です。社会人としての態度が身についていなければ信頼を得られず、それは患者様への不利益にもなってしまいます。これからも接遇を忘れず、自己研鑽を積み、専門職として人として信頼される理学療法士であり続けます。

檜翔会だより

新生病院勤務

1期生 涌井 啓輔 先生

信州リハビリテーション専門学校同窓会の副会長を務めさせて頂いています、1期生の涌井啓輔です。同窓会の活動を通して素晴らしいと思うことは、卒業した後も人との繋がりができるという事です。また、同窓会主催の研修会では、普段と違った知識や技術を学べ、すぐに自分の職場へ持ち帰り実践してみたいくなるほどです。その際、同窓生との交流では様々な情報交換をすることができ、とても有意義な時間となりました。これからも研修会等を通して多くの同窓生の皆様と交流ができると嬉しいです。皆様のご参加を心からお待ちしています!



保護者の声

3年：河西 雅人さん 保護者
河西 和男 様 恵美 様



コロナ禍によって自分の目標としていたものが失われ、入学当初は、中々勉強にも集中できず過ごしてきてしまいました。初めての實習、一人暮らし、慣れない東京での生活といろんな事を経験する中で沢山の事を学びました。そこには常に先生方の丁寧な御指導と、先輩、良き仲間の支えがあってやり遂げる事ができ感謝しております。今ではしっかりと目標を持ってましたね。これからは地元の地域医療に寄り添い理学療法士として、また一社会人としてあなたの活躍を応援しています。

第59回理学療法士 国家試験スケジュール

国家試験:令和6年2月18日(日)
合格発表:令和6年3月21日(木)
(厚生労働省HP 14:00~)

3年生は仲間と共に夢に向かって日々、励んでいます。がんばれ、3年生!!



令和5年度学校自己評価結果について

学校長 村松 秀明



今年度も、より良い学校運営と、家庭・地域との連携による開かれた学校づくりを目的に、学校自己評価を実施しました。その結果をお伝えします。

1. 自己評価結果の概要

教職員を対象に10分野46項目のアンケート形式で、4段階評価（4：良く取り組んでいる、3：まあまあ取り組んでいる、2：あまり取り組めていない、1：全く取り組めていない）で行いました。結果は下表の通りです。

分 野	評価 (前年度)	分 野	評価 (前年度)
1 教育理念・目標・育成人材像等	3.73(3.82)	6 教育環境	3.61(3.67)
2 学校運営	3.71(3.67)	7 学生募集と受け入れ	3.84(3.89)
3 教育活動	3.79(3.77)	8 財 務	3.77(3.89)
4 教育成果	3.58(3.52)	9 法令等の遵守	3.93(3.98)
5 学生支援	3.55(3.58)	10 社会貢献	3.55(3.55)
		全体平均評価	3.70(3.72)

2. 各項目に対する評価

概ね良好な評価結果でした。4.0であった具体的項目は○事業計画の定め、○授業評価の実施・評価体制の有無、○成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準が明確、○資格取得率の向上、○学生募集活動の適正実施、○個人情報保護、○自己評価の実施、公表などでした。学校運営と教育に対し、全員で取り組んできた結果といえます。

低値（2.7～3.2）の項目は○教職員の知識・技能向上の組織的取り組み、○卒業生・在校生の活動把握、課外活動支援でした。これらの項目は、昨年度も該当しており、改善に向け取り組まなければなりません。その他、設備、備品の見直しも必要となってきたことが継続課題となりました。

3. 同時実施アンケート結果

併せて学生、保護者に対し3種のアンケートを実施し、満足度（満足、あてはまる）は以下の通りでした。
「学生による授業アンケート」 95.5%（前年度95.4%） 「学生アンケート」 90.6%（前年度86.1%）
「保護者アンケート」 96.5%（前年度96.4%）

4. 今後に向けた取り組み

より良い教育のためには、教職員の研鑽機会を保障・提供する必要があります。個々の業務により、学会・研修会参加を見送る事も多かったため、参加を推奨し状況を見直します。退学率の低減と卒業・国家試験合格率、就職率の向上に努めます。学生には知識技術だけでなく、非認知能力を向上させるために、他者との関りや共に学ぶ機会を多く作ります。学生の状況などは保護者と共有されるよう連携をとります。また、学校の情報は、SNS等で外部発信しながら、学生確保に努めます。設備や備品の老朽化対応は継続課題として、中長期計画により対応していきます。入学から国家試験合格、就職まで、安心して学べる学校となるよう努めてまいります。

関連法人

医療法人社団 敬仁会



【桔梗ヶ原病院】

社会福祉法人 平成会



【介護老人保健施設わかな】

姉妹校



学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校



学校法人 松樹学園

信州リハビリテーション専門学校

〒399-6301 長野県塩尻市賛川1215-2

TEL：0264-34-1023/FAX：0264-34-3371

<https://syoujyu-g.ac.jp/reha/>



信リハ |

検索

最新情報を更新中ですので
ぜひご覧ください♪